

令和6年度法律相談事業実施状況

川崎市老人福祉施設事業協会

	申込日	相談区分	相談概要	実施日	相談方法	支援内容	処理	備 考
1	R6.4.9	損害賠償	利用料未払い。令和5年12月から滞納しており、全く電話に出ない状況。支払いについて手紙を出している。	R6.4.11	対面相談	身元保証人である親族への請求方法（配達記録付き内容証明郵便）、本人が既に被後見状態にあることから「首長申立」を見据えた行政への働き掛けについて教示	相談のみで終了	
2	R6.7.18	職員間トラブル	施設の職員間のトラブルに関し、施設の採るべき対応や被害者が採りうる手段について相談	R6.7.22	対面相談	施設が安全配慮義務違反を問われないための手段について教示した。被害者の代理人就任について強く打診を受けたが、既に施設の相談を受けた以上利益相反となるため、別の弁護士の依頼（無料）を可能ならしめるため市の条例・弁護士会委員会を紹介した。	他機関へ紹介 (市条例・委員会)	
3	R6.9.26	人材派遣会社との契約トラブル	派遣職員の雇入れ時、妊娠していた事実の隠蔽があり、雇入れ後に発覚した。他の身体的理由も重なり就業を継続できなくなったが、人材派遣会社からは、全額請求する旨の連絡があった。	R6.10.8	対面相談	契約内容や義務違反の範囲、損害賠償義務の有無等について法的な観点から説明。弁護士の見解は、妊娠というセンシティブなものでありつつも、契約違反を主張できるのではないかというもの。	相談のみで終了	R6.10.24 施設から連絡「派遣会社から請求を取りやめた旨の連絡があった。」
4	R6.12.25	利用者の家族への対応	退所された利用者の家族から、入所中の施設対応の不手際について説明を求められた。 その際に、職員に対して人格を否定するような発言があった。	R6.12.27	対面相談	職員一人で相手方に対応させることがないように配慮するようにお願いした。 介護の在り方に問題がないかについては、相手方と施設側で見解が正反対であり、折り合う余地が現時点ではない。相手方の請求を待って、それに対応するようにアドバイスをした。	相談のみで終了	